土佐の「こじゃんと」能楽プロジェクト

能楽×美術館――空間と身体が織りなす、新たな伝統文化の幕開け

高知県立美術館が誇る「総檜造りの可動式能舞台」と、開放感のある美しい「中庭の石舞台」。
この唯一無二のロケーションを活かし、能楽を現代に生きる“動く美術品”として体感していただく新たな試みです。

チケット料金（全席指定席）

A席 7,000円　B席 5,000円
学生券 2,000円（小・中・高校生）

前売りチケット 9月18日（金）午前10時より販売開始
販売終了 11月公演：11月10日（火）　12月公演：12月8日（火）

※上記を過ぎてからのチケットのご購入については当日券になります。
※販売期間にかかわらず、チケットが売り切れ次第、販売を終了させていただきますので予めご了承ください。

チケット購入

■ぴあ
Pコード545-037
セブンイレブン全国各店舗

■カンフェティ
050-3092-0051（有人対応）
平日10：00〜17：00

※チケット予約後、ファミリーマートにてお受け取り可能。

チケット購入（窓口）

■高知県立美術館ミュージアムショップ ― 088-866-7653
■高知県立県民文化ホール ――― 088-824-5321

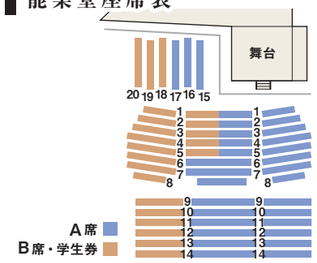
会場情報

高知県立美術館
能楽堂・中庭石舞台

〒781-8123 高知県高知市高須 353-2
https://moak.jp/guide/

・オープニングの能「猩々」(約15分)は、屋外の中庭石舞台で上演します。
・屋外は【立ち見】です。(一部座席あり)　段差などにお気を付けください。
・鑑賞後は屋内の能楽堂へ移動し、指定席へご着席ください。
・雨天時は「猩々」を含む全演目を能楽堂（全席指定）にて上演します。

能楽堂座席表



同日開催

体験ワークショップ　「能舞台出現：技術と幽玄の裏側」

可動式能舞台の構造や、能楽のなるほど知識が聞ける少人数限定の講座！

日　時　令和8年11月11日（水）・12月9日（水）各日16:00開始（15:45開場／17:00終了予定）
会　場　高知県立美術館　能楽堂
参加料　一　般　2,000 円　学生券（小・中・高校生）1,000 円
本公演セット割引　本公演チケット提示で 500 円キャッシュバック

建築・構造美と伝統芸能の融合を多角的に楽しむ特別体験。

■舞台機構の実演解説：巨大な能舞台が出現する仕組みを公開
■オン・ステージ体験：舞台上で能楽師から学ぶ摺り足・足拍子
■能面の世界を体感：実際に面をつけて、能楽師が見ている世界を体感

◎チケットは上記販売所にてお求めいただけます。

＜ 主催・問合せ ＞
公益社団法人能楽協会
TEL：03-5925-3871 https://www.nohgaku.or.jp/
※能楽協会では、チケット販売をしておりません。上記チケット販売所にてお求めください。

・上演中の撮影・録音・録画は固くお断り致します。　・未就学児のご入場はご遠慮頂いております。
・出演者は都合により変更させていただく場合がございます。
・当日は主催者、関係者、メディアによる撮影が入る場合がございます。
　客席を含む会場内の映像・写真が公開されますので予めご了承ください。
・天候等の状況により公演が中止又は変更になる場合がございます。最新情報は能楽協会公式サイトをご覧ください。
・その他の注意事項・最新情報は能楽協会公式サイトをご覧ください。

応援事業
よさこい高知文化祭2026

2026年
【第一回】11月11日（水）
【第二回】12月9日（水）

開演18：15（開場17：45／終演21：00予定）
会場：高知県立美術館 能楽堂（〒781-8123 高知県高知市高須 353-2）

＜ 主　催 ＞ 公益社団法人能楽協会 https://www.nohgaku.or.jp/
＜ 共　催 ＞ 高知県立美術館
＜ 後　援 ＞ 高知県、高知市、高知新聞社、ＲＫＣ高知放送、ＫＵＴＶテレビ高知、KSSさんさんテレビ、FM高知

助成：文化庁文化芸術振興費補助金 劇場・音楽堂等と芸術団体との連携による
地域活動基盤形成支援事業 独立行政法人日本芸術文化振興会

詳細はコチラ

第一線で活躍する能楽師による圧巻の舞台上演をはじめ、わかりやすい解説や能サポ（字幕サービス）、
舞台の裏側に迫る体験講座まで充実。
土佐の地で伝統の真髄を、「こじゃんと」味わっていただけるプログラムをお届けします。

トークイベント出演
よさこい高知文化祭2026
広報大使 島崎和歌子

番組

11月11日（水） 開演18時15分

オープニングパフォーマンス
能「猩々」 シテ（猩々） 観世喜正
ワキ（高風） 大日方寛
笛 槻宅聡
小鼓 曽和鼓堂
大鼓 亀井広忠
太鼓 桜井均
地謡 林本大 河村浩太郎 上田顕崇

～移動・休憩～

トークイベント タレント **島崎和歌子** 観世喜正

狂言「寝音曲」 シテ（太郎冠者） 高澤祐介
アド（主） 三宅右矩
後見 金田弘明

～移動・休憩～

能「大江山」 替之型
シテ（酒呑童子／鬼神） 観世喜正
子方（姫君） 林彩八子
子方（姫君） 林小梅
ワキ（源頼光） 大日方寛
ワキツレ（独武者） 御厨誠吾
ワキツレ（頼光の家来） 宝生朝哉
ワキツレ（頼光の家来） 小林克都
ワキツレ（頼光の家来） 梅村昌功
アイ（強力） 三宅近成
アイ（洗濯女） 前田晃一
笛 森田勝瀧
小鼓 曽和鼓堂
大鼓 亀井広忠
太鼓 桜井均
後見 弘田裕一
地謡 味方團 上田拓司 吉井基晴 大西礼久 林喜右衛門 長山桂三 林本大 山中雅志 藤井丈雄

終演21時予定

12月9日（水） 開演18時15分

オープニングパフォーマンス
能「猩々」 シテ（猩々） 観世喜正
ワキ（高風） 福王知登
笛 松田弘之
小鼓 久田舜一郎
大鼓 山本哲也
太鼓 前川光長
後見 弘田裕一
地謡 鷹尾章弘 角当直隆

～移動・休憩～

解説 神戸学院大学人文学部准教授 中村健史

一管「下り端」 森田勝瀧

狂言「濯ぎ川」 シテ（男） 茂山逸平
アド（女房） 島田洋海
アド（姑） 鈴木実
後見 山下守之

～移動・休憩～

能「綾鼓」 シテ（庭掃きの老人／前同人の霊） 粟谷明生
ツレ（女御） 狩野祐一
ワキ（臣下） 福王知登
アイ（臣下の従者） 茂山逸平
笛 松田弘之
小鼓 久田舜一郎
大鼓 山本哲也
太鼓 前川光長
後見 中村邦生 粟谷浩之
地謡 長島茂 狩野了一 金子敬一郎 内田成信 佐々木多門 大島輝久 佐藤陽 谷友矩

終演21時予定

出演者

粟谷 明生
（あわや あきお）

観世 喜正
（かんぜ よしまさ）

茂山 逸平
（しげやま いっぺい）

高澤 祐介
（たかざわゆうすけ）

あらすじ

能「猩々」（しょうじょう）

孝行者に尽きぬ酒壺を授けた海中に住む酒好きな福の神「猩々」。日没の水辺に現れた猩々が、酒に酔いしれて無心に舞い戯れます。
今回はオープニングを飾る短縮版として、幻想的な石舞台を舞台に祝祭の幕開けを華やかに寿ぎます。

狂言「寝音曲」（ねおんぎょく）

主人の謡の所望に、太郎冠者は「酒を飲まねば」「膝枕で横にならねば謡えない」と無理難題でごまかそうとしますが……。
主従のユーモラスな駆け引きが笑いを誘う名作です。

能「大江山」（おおえやま）

丹後国・大江山に巣食い、都の姫君たちを拐う鬼・酒呑童子。朝命を受けた源頼光ら勇猛な武士たちは、山伏の姿に身をやつし鬼の岩屋へと潜入します。酒宴ののち、正体を現した鬼神と武士たちによる大立ち回りは初見の観客をも圧倒する大迫力。華麗な装束と大勢の演者が舞台狭ましと躍動する、豪快な退治譚の傑作です。

狂言「濯ぎ川」（すすぎがわ）

妻と姑にこき使われ、日々の家事箇条書きまで渡された婿。川での洗濯中に誤って落ちてしまい助けを求めますが、妻たちは取り合わず……。中世フランス艶笑劇を翻案した傑作喜劇。茂山家によって作られた新作狂言です。

能「綾鼓」（あやのつづみ）

身分違いの女御（にょうご）に恋した老人は、「池の畔の鼓を打って音が宮殿に響けば姿を見せよう」と告げられます。しかし、布を張った綾の鼓は打てども鳴らず、絶望した老人は池へ身を投げ怨霊となって女御を激しく責め立てます。
昭和に改訂された喜多流の「綾鼓」は、老人のやり場のない怒りと苦悩が視覚的・劇的に際立つ構成が特徴。人間の心の闇を抉る重厚な名作です。

能サポ Multilingual subtitles for Noh
Google Play App Store

当日は字幕解説「能サポ」をご利用いただけます。

＊お手持ちのスマートフォン、タブレットに舞台上演に合わせた字幕解説が自動的に表示されます。（日本語・能のみ）
＊事前にQRコードから「EG-G」アプリ(無料)をダウンロードしてください。
＊当日ロビーでのご案内も致します。
※公演中は必ず機内モードとマナーモードにしてご利用ください。
※周りのお客様へご迷惑にならないようご配慮ください。